

◎基本情報

事務事業名	学校づくり計画推進事業		担当部署	教育委員会 学校教育課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市教育振興計画 鳴門の学校づくり計画	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="20"/> 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと			終期
(小項目)		教育行政			
施策	1	教育行政の充実			
基本事業	4	学校(園)の適正規模・適正配置の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 「鳴門の学校づくり計画」に位置づけられている、市内の公立幼稚園、小学校及び中学校。						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	本市の子どもたちが将来にわたってより質の高い教育を受けることができるように、より良い教育環境を整えるため、「鳴門の学校づくり計画」に基づき、複式学級の解消や新しい学校づくりを推進する。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	第二期鳴門の学校づくり計画について、鳴門市教育振興計画審議会を設置し、学識経験者や保護者等の意見を聴取しながら策定作業を行うとともに、地域との意見交換会やパブリックコメント実施するなどして、策定に向けた取組を進める。 鳴門東幼・小、瀬戸小ともに学校再編に関する意見交換会を継続する。瀬戸中学校区では、幼小中一貫教育の強化を図る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		複式学級のある小中学校	2	2	2	2	2	校

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	第二期鳴門の学校づくり計画について、鳴門市教育振興計画審議会において策定作業を進めるとともに、校長会・園長会での意見聴取、パブリックコメントの募集を行った。また全14小学校区において、地域との意見交換会を行い、計画に反映させた。 瀬戸中学校区では、幼小中合同研修や専門部会を実施し、平成30年度の幼小中一貫教委浮く本格実施に向け連携強化を図っている。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市教委主催の説明会の開催回数	2	14	3	3	3	回
	2	地域の会合及び学校行事等での説明会の開催回数	0	0	未定	未定	未定	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		複式学級のある小中学校	2	1	—	—	—	校
		目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり				

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	803	803
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	803	803
		決算額	0	0	0	0	453	453
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)		総人件費		総事業費	
		1.0	0.0		7,133		7,586	

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	148	453	431	未定	未定
	うち一般財源	148	453	431		
	人件費	6,859	7,133	7,133		
	総事業費	7,007	7,586	7,564		

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった	各小中学校区における意見交換会では、鳴門市の現状を説明し、課題を共有するとともに、参会者から有意義な意見を得ることができた。
	効率性	B:概ね効率的だった	第二期鳴門の学校づくり計画策定に向け、限られた期間の中で、審議会の開催、校園長会の意見聴取、意見交換会、パブリックコメントの募集等を実施することができた。
②成果に対する評価	指標名	複式学級のある小中学校	
	目標	2	校
	実績	1	校
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		B	瀬戸中学校区においては、めざす子ども像を策定するとともに、幼小中一貫指導プランの策定に向けて協議を進めることができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	年度当初に策定した第二期鳴門の学校づくり計画に基づいて、学校再編を進めていく。瀬戸中学校区においては、平成30年度の幼小中一貫教育本格実施に向け、県の幼小中一貫教育(徳島モデル)推進事業を受託し、連携強化を図っていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	策定された第二期鳴門の学校づくり計画に基づき、鳴門東幼・小、瀬戸小ともに学校再編に関する意見交換会を実施する。瀬戸中学校区では、県の徳島モデル推進事業に則った連携強化を図るとともに、めざす子ども像を共有し、幼小中一貫指導プランを策定する。			
	H30年度	第二期鳴門の学校づくり計画に基づいて、鳴門東幼・小、瀬戸小ともに学校再編に関する意見交換会を継続する。瀬戸中学校区では、めざす子ども像の実現に向け、幼小中一貫指導プランに基づいた教育活動を推進していく。			